



平成29年度

全日本アマチュアゴルフアーズ選手権

東日本C地区予選

開催日 平成29年 7月31日(月)
開催コース 随縁カントリークラブ 恵庭コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ (規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード (規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤線をもってその限界を標示する。
3. 修理地 (規則 25-1)
修理地は青杭又は白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
4. 動かせる障害物 (規則 24-1)
(a) バンカー内の石は動かせる障害物とする。『ゴルフ規則 24-1』を適用する。
5. 動かせない障害物 (規則 24-2)
(a) 排水溝
(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
(c) 動かせない障害物と白線でつながれている区域(その動かせない障害物の一部とみなす)
(d) 距離標示のためのマーカーは動かせない障害物とし、球がその上にあるか触れている場合及び意図するスイング区域にある場合にはプレー禁止とし、ゴルフ規則 24-2b の救済を受けなければならない。(スタンスは除く)
(e) 障害物によって囲まれた花壇
(f) 花壇(小石で被服された場所を含む)
(g) パッティンググリーンに近接する動かせない障害物について、『ゴルフ規則付 I (A) 4a』を適用する。(ゴルフ規則 165 ページ参照)
6. パッティンググリーンで球が偶然に動かされること
球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則 18-2, 18-3, そして規則 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。
7. 距離計測機器 (規則 14-3 注) 『付属規則 I (A) 7』
プレーヤーは距離計測機器の使用によって距離の情報を得ることができる。正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(例えば、標高変化、風速など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則 14-3 の違反となる。

競 技 の 条 件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

3. プレーの条件

18ホール・ストロークプレー

4. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I (B) 1a』を適用する。(ゴルフ規則 176 ページ 参照)

5. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則付 I (B) 1b』を適用する。(ゴルフ規則 177 ページ 参照)

6. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b, c, d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間でいた時は、各競技者は委員会よりプレー再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

(3) プレーの中断と再開の合図について

【サイレンの場合】

通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。

またはサイレンを使用せず競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

【無線を使用する場合】

プレーの中断と再開は、乗用カートに搭載の無線機により一斉通報する。

【上記2点を使用しない場合】

本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I (B) 5b』を適用する。(ゴルフ規則 181 ページ 参照)

8. 移動

【徒歩によるキャディー付プレー】の場合

プレーヤーは正規のラウンド中、いかなるの移動用の機器にも乗ってはならない。

9. キャディー (規則 6-4 注)

【徒歩によるキャディー付プレー】の場合

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 I (B) 2』を適用する。(ゴルフ規則 179 ページ参照)

10. タイの決定

正規のラウンドが終了して予選通過者にタイが生じた場合は、「マッチング・スコアカード方式」により通過者を決定する。

11. 競技終了時点

競技委員長による成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

12. 競技の短縮

委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、プレーの条件に定めてあるラウンド数を短縮することができる。

注 意 事 項

1. 本年度より、ローカルルールにて制定の通り、距離計測機器の使用が可能になりました。このローカルルールは2点間の距離のみ計測することを認めております。禁止されている情報（例えば、勾配、高低差、風速、風向、プレイヤーのストロークをする上で援助となるかもしれないアドバイス関連事項）の機能を使用した場合、ペナルティの対象になりますのでご注意ください。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレイヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレイヤーを競技失格とすることができる。
4. 組合せスタート時間は別紙のとおりとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時間を変更する場合がある。欠席する場合は、必ずコース (TEL : 0 1 2 3-3 3-8 0 8 0) に連絡すること。
5. プレーの進行は、ハーフラウンド 2 時間 1 0 分以内とすること。先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。(トラブルがあって遅れた場合はその組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務があります)
6. スコアカードは指定されたものを競技委員より受領し、プレー終了後速やかに提出すること。尚、スコアカード提出の際は、エリア制となっております。競技委員又は担当者の指示に従ってスコアカード記入エリア内でスコアカードをご提出下さい。
7. 使用ティーマーカーは 黒色 (バックティー) とする。
8. コース内での携帯電話の通話は緊急時以外 (カートの故障・ケガ等) 禁止する。※コース内では必ず電源を OFF にすること。 ※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることもある。
9. 正規のラウンド中、ギャラリー等との接触においてアドバイスとみなされる行為があった場合は、ペナルティを課すので注意すること。

競技委員長 土屋 渉

平成30年アマチュアゴルファーズ選手権競技

東日本C地区 予選 組合せ表



期 日：平成29年7月31日（月）

会 場：随縁カントリークラブ 恵庭コース

GREEN TREE CHARITY

OUT スタート

主催：公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

	スタート時間	NAME	NAME	NAME	NAME
1	7:30	西村 俊介	林 浩雄	杉山 颯	
2	7:38	堀 敏	菅 章貴	関口 哲也	
3	7:46	若狭 雄二	内浦 亨	坂本 将規	
4	7:54	大野 智焼	小本 桂資	秋岡 亮平	屋敷 宗寿

- 注) 1. 本競技の上位5名が地区決勝競技への出場資格を得る。地区決勝進出者は、予選当日にエントリー用紙に記入し、予選出場クラブにて地区決勝へのエントリーを行う。予選当日に予選出場クラブにてエントリーされなかった場合は、地区決勝への出場を辞退されたものとみなす。地区決勝への出場を本日に限り辞退者が出た場合は繰り上げる。
2. 組合せおよびスタート時間は、欠席者があった場合は変更することがある。
3. 病気、事故などのため参加を取止める場合は、必ず事前にコース名（電話番号）へ連絡すること。
4. 無断欠席の場合、年度の本競技を含め1年間の競技出場を停止する。

競技委員長 土屋 渉